

町の歴史に思いをさせて

企画展「刻のかけはし episode II」まが玉作り

交流情報センターミナテラスで11月21日、まが玉作り教室が行われました。

これは、10月2日～11月28日にかけて開催された企画展「刻のかけはし episode II」の関連イベントで、町内で発掘された「まが玉」の展示に併せて開催されたもの。参加者たちは2種類のやすりで削り形を整え、水に浸した後、目の細かいやすりで磨き、それぞれ個性溢れるまが玉を作り上げました。自分の理想の形を再現しようと削り続ける子どもたちの姿は、まるで職人のようでした。



まが玉を見つめる真剣なまなざし



㊤水消火器で消火体験 ㊦熊本学園大学による「つながる cafe」

地域で取り組む火災予防

東無田・櫛島地区消防訓練

島田団地で11月23日、消防訓練が実施されました。

訓練は、生活支援コーディネーターと地元消防団の主催で、東無田・櫛島地区の住民約40人が参加。益城西原消防署員による119番通報についての説明後、水消火器を使った消火体験が行われました。また、訓練後には熊本学園大学から温かい飲み物が振る舞われました。

東無田の堀川正秀区長は、「普段の備えが大事。年末にかけて火の取り扱いに気を付けてほしい」と、参加者に注意を促しました。

歩いて、見て、聞いて 深まる学び

益城中央小・飯野小 校外学習

11月25日に益城中央小、26日に飯野小の校外学習が行われました。

益城中央小2年生は役場を訪れ、職員の案内で仮設庁舎内を見学。立ち寄った各課で職員に質問をしたり、タブレット端末で写真を撮影しながら学習していました。

飯野小4年生は、益城ほりおこし隊の案内で砥川用水路を見学。同隊河原三代志さんによる授業で事前に砥川用水について学習した34人が、砥川用水の取り入れ口となっている赤井のそうめん滝から、砥川の富田茂七顕彰碑まで歩いてたどりました。児童たちは、「用水路を作るのはすごいと思った」、「昔はもっと長い用水路だったと聞いて、どこまで続いていたのか知りたくなった」など、実際に歩いて感じたことを教えてくれました。

1 役場企画財政課で職員に質問する中央小の児童たち

2 顕彰碑前で河原さんの話を聞く飯野小の児童たち

